



2022年2月28日

各 位

会社名 株式会社 広濟堂ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 黒澤 洋史
(コード番号 7868 東証 第1部)
問合せ先 経営企画部 部長 小嶋 裕史
電 話 (03) 3453-0557

新規事業の開始に関するお知らせ

当社は、2022年2月28日の当社取締役会において、ご遺族に寄り添った「ご喪家ファースト」（「ご喪家」＝「ご遺族」）を実現する新たなライフエンディングサービスの提供のため、新規事業として葬儀に関する事業（以下「葬儀事業」という）の開始を決定しましたので、お知らせいたします。

なお、かかる新規事業の開始に伴い、本日開催の取締役会において、燦ホールディングス株式会社（以下、「燦 HD」という）との間で、利便性の高い施設における高品質な葬儀サービスの提供のため、業務提携及び共同で行う葬儀事業を目的とする合弁会社の設立（以下、「本業務提携」という）に関する契約の締結を決定しておりますが、本業務提携の詳細は本日別途公表の「燦ホールディングス株式会社との業務提携及び合弁会社の設立に関するお知らせ」をご確認ください。

記

1. 新規事業開始の目的

当社グループは、当社子会社の株式会社東京博善（以下「東京博善」という）において火葬事業を営んでおり、東京都内で6カ所の総合斎場（式場機能を備えた火葬場：町屋、落合、代々幡、四ツ木、桐ヶ谷、堀ノ内）と、1カ所の保棺施設（365日体制の保棺室を完備：お花茶屋会館）を運営し、公益性の高い社会インフラである火葬場として、火葬事業の公共性、継続性、安定性を追求してまいりました。

そして、2020年3月の東京博善の完全子会社化を機に、豊かなシニア・エンディングライフの実現を目指し2021年1月20日公表の「廣濟堂シニア・エンディングプラットフォーム構想」を策定しました。本構想において、「ありがとう」に溢れる価値あるシニア・エンディングサービスの提供をビジョンとし、当ビジョンの実現のため3つの指針「1. 公益性の高い社会インフラである火葬場として、火葬事業の公共性、継続性、安定性を追求し、より付加価値の高いサービスを提供する」、「2. 葬儀・火葬の場においてご遺族に寄り添い、「ご喪家ファースト」のサービスを提供する」、「3. 火葬事業におけるリーディングカンパニーとして自社の成長のみならず、葬祭業界全体のプレゼンス向上のために広く貢献する。」を掲げ、新たなシニア・エンディングサービスの開発・提供に努めてまいりました。

高齢化や価値観・ライフスタイルの変化等により、葬儀に対するご遺族のニーズは従来の「一般葬」から「家族葬」、「小規模葬」等多様なものに変化しております。このようなご遺族のニーズに対し、ご遺族に寄り添った「ご喪家ファースト」を実現し、より付加価値の高いサービスを提供するため、葬儀事業を開始することといたしました。

2. 事業の概要

当社グループの葬儀事業は、東京博善の式場を利用して、当社子会社の「株式会社広濟堂ライフウェル」（以下、「広濟堂ライフウェル」という）及び本業務提携に基づき設立される合弁会社「株式会社グランセレモ東京」（以下、「グランセレモ東京」という）により行われる予定です。

広濟堂ライフウェルでは、「東京博善のお葬式」として、式場を併設した火葬場を営む利便性の高い東京博善の式場を利用して、オールインワンのわかりやすい葬儀プランをご提供してまいります。

一方で、グランセレモ東京では、以下の4つのコンセプトのもと、葬儀事業を行ってまいります。

- (1) ご遺族の“望む”葬儀を明瞭な費用で実現します。
- (2) 長年の経験から高いレベルで整備された研修制度をおき、高品質の葬儀を提供します。
- (3) グリーフケアを含めて葬儀後にご遺族に寄り添います。
- (4) 多様な宗教、宗派、様々な規模の葬儀に対応します。

3. 新規事業の開始時期

- ・広済堂ライフウェル：2022年3月上旬
- ・グランセレモ東京：2022年7月（予定）

4. 今後の見通し

本件に伴う2022年3月期の業績への影響は軽微と見込んでおります。今後、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

【取材・広報に関するお問い合わせ先】

株式会社広済堂ホールディングス 事業戦略室 本多 TEL：080-5945-5055

以 上